

余談ですが、悪い施工例どういうものかわからないと良い施工もわからないと思ったので一つ事例をご紹介します。数年前にあそこの工事は酷かったという話を聞き、悪い例を見たことが無かったので先日観光がてら見に行ってきました。

元々は弊社で新設工事をしましたが、その後は関わりはありませんでした。屋根の葺き替え工事を行うにあたり、空気を一部取り外す必要があったそうです。

おそらく屋根の藁を固定している縄を外したり締めたりするのに銅管が邪魔だったのだと推測します。人の仕事にケチ付けるのは良くないのですが正直想像していた以上でした。施工業者さんがどこことは聞いてないので知りませんが、それなりの知識ある人が見たらこれは工事終わってないと思うでしょう。ただ外しただけに見えますが、一部ちょっとだけ止めてあるので施工した人はこれでOKなのでしょう。

この話を聞いたのが工事後だったので福島防災さんだったらどのくらいで出来たか聞かれましたが、ただステップルを外して、空気を浮かして、元通り取り付けただけだったら使う部材はステップルだけだと思うので、人工代と諸経費で高くてもこのくらいですって話をしたのですが、その4倍取られたらしいと聞きました。(払ったのは屋根の業者さんらしいので全体の工事費は変わらないと思います。)

高いのは技術料だから仕方ないと施工業者さんはおっしゃっていたそうですが、施工状況を見る限り素人の工事と大差ない程度だと思います。やったことないにしても外す前に元の状態を見ているはずなのですが、不思議ですね。



全く固定されて
おらず、軽くス
テップル打っただ
け。



ちゃんと引っ張らないとこういう風に波
打ってぐちゃぐちゃになります。そもそも
ステップルの数も足りてません。





これは同じ建物の施工していない場所(たぶん弊社で最初に施工したままの状態)です。元々はステップルも茶色に塗装した物を使用してあったはずです。
工事をやってないところとの差が大きかったので建物の周囲見ただけで一目で工事箇所がわかりました。